

令和8年度

学校要覧



北海道網走養護学校

明るく
元気に
呼人で学ぶ



タンチョウヅル

〒099-2421 網走市字呼人 149 番地 2

TEL 0152 - 48 - 2137 (事務室)

48 - 2235 (職員室)

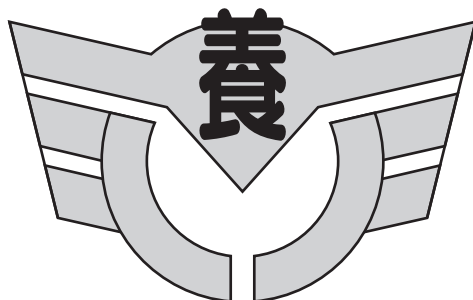
48 - 2552 (寄宿舍)

FAX 0152 - 48 - 2137

ホームページ <http://www.abashiriyougo.hokkaido-c.ed.jp>

メールアドレス abashiriyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp

校章



校章の由来

恵まれた自然の中に、あたらしい期待と願望のうちに開校された網走養護学校を象徴するものとして、つぎのような意図のもとに校章を図案化した。

中心の円は、学校をとりまく網走湖を表わし、また、教育の営みが調和的な人間発達をめざすという意味がこめられている。

円の上部の三角形は網走湖に突き出した呼人半島、そして、教育を受けた子どもたちが世の中に巣立っていく姿を表わし、上部の左右の線はそのはばたきである。

円の横、左右に分かれた2本の線は川を意味し、下部の切れ目は、湖水が網走川をへてオホーツクの海へと流れだしていく意をもつとともに、障害のある子どもたちが、自らを閉ざすことなく、豊かな自然と地域の人たちと交わり、それらの愛情によってはぐくまれることをも表わしているのである。

昭和49年5月31日 制定

構想・デザイン 竹田 洋一

校歌

作詞 太田 清
作曲 塚田 昌克

一、空と海が ひとつになつて

おしよせてくる みどりの野原

ぼくやわたしが ひとつになつて

立ちあがるんだ あゆむんだ

胸いっぱい 未来をやどし

光をもとめ はるかな道を

二、鳥と森が ひとつになつて

よびかけている くだらかな丘

ぼくやわたしが ひとつになつて

負けないんだ 強いんだ

ひびきあう 心からだ

光をうけて はるかな道を

三、雪と氷が ひとつになつて

そびえている ゆうひの山よ

ぼくやわたしが ひとつになつて

望んでるんだ はげむんだ

たしかな明日に 手と手をむすび

光あふれる はるかな道を

開校讃歌「はるかな道を」を開
校五周年を記念して校歌に制定

沿革の概要

- 昭和49年 4月 北海道網走養護学校開校
5月 開校式及び落成式挙行
- 50年11月 第13回北肢研網走大会
- 52年10月 避難道、遊歩道完成
- 53年11月 開校5周年記念式典挙行
- 58年11月 開校10周年記念式典挙行
- 平成 2年12月 水泳プール及び上屋新築竣工
- 5年 4月 高等部開設
11月 第30回北肢研網走大会
開校20周年・高等部開設記念式典挙行
体力作り優良校受賞
- 7年10月 高等部校舎・寄宿舍落成記念式典挙行
授業研究会・講演会開催
2月 網走管内教育実践表彰受賞
2月 平成8年度北海道教育実践表彰受賞
- 10年 4月 高等部訪問教育学級設置
- 14年11月 第39回北肢研網走大会
- 15年 4月 養護学校における医療的ケアに関するモデル事業実践研究校指定（16年3月まで）
11月 開校30周年記念式典挙行
- 17年 1月 第1回網走地区特別支援教育連絡協議会
- 18年 9月 第4回全道盲・聾・養護学校おやじサミットIN 網走（北海道中標津高等養護学校と合同主催）
11月 平成18年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞
- 19年 1月 吉田教育長学校視察
- 25年 6～10月 開校40周年記念事業挙行
- 25年 7月 立川教育長学校視察
- 26年 1月 第50回北肢研網走大会
- 26年 7月 第10回全道特別支援学校おやじサミットin オホーツク開催
（主催・オホーツク管内の特別支援学校）
- 令和 5年 1月 第59回北肢研網走大会
12月 開校50周年記念式典挙行



校舎外観

令和8年度 北海道網走養護学校グランドデザイン

法令法規
学習指導要領
北海道教育推進計画

【校訓】 明るく 元気に 呼人で 学ぶ

北海道特別支援学校肢体不自由
教育・病弱教育ビジョン

【学校教育目標】 地域で自分らしく生きる人を育てる

【スクールコンセプト】

一人ひとりの個を強みに、社会と響き合い、自立して歩み続ける力を育てる学校

- (1) 個のニーズに合わせた学習内容・方法の最適化と小中高を見通した系統性のある教育課程の構築を実現します。
- (2) 自己選択、自己決定、自己調整の力を育てる教育活動の充実を実現します。
- (3) つなぐ、つながる学校(保護者・地域・関係機関等)づくりを実現します。
- (4) 相互理解と協働による働きがいと心にうるおいのある職場環境を実現します。

- めざす学校像……………持続可能で選ばれる学校
- めざす児童生徒像……地域から「社会」で豊かに暮らす
- めざす職員像……………学び合い支え合う専門職集団

何のために

【令和8年度スローガン】

もっとワクワク”学校～スマートサポートで、未知の可能性を拓く～

【重点目標】

「経験」の知恵と「根拠」の確かさを「テクノロジー」でつなぎ、学びの最適解を導き出す

- (1)【授業改善】スマート・ラーニングへの転換
- (2)【専門性向上】エビデンスに基づく「伴走型」教育課程の推進
- (3)【組織改革】スマート・ワークが生み出す「クリエイティブ・ウェルビーイング」

【育成を目指す資質・能力】「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」

何をするか

令和8年度行動指針【SMART】

- S:Strategic**(戦略的な教育課程…個別最適化された学びと協働的な学びの推進)
- M:Multi-layered**(多層的な連携…多様な職種、地域、関係機関との重層的ネットワーク)
- A:Accessible**(ひらかれた専門性…いつでも、誰でも活用できる専門知の共有)
- R:Resource-saving**(価値を生む省力化…校務運営の余白と心理的安全性の確保)
- T:Tech-driven**(テクノロジーによる可能性の拡張…ICT・AI 活用による社会体験の拡張)

【キーワード】

○教育課程編成(教科等横断的視点、目標と内容の明確化)自立活動の充実 キャリア教育の推進 業務改善・組織の活性化 新たなセンター的機能 研究推進・資質向上

【令和8年度学校研究主題】

令和8年度 北海道網走養護学校経営方針「重点シート」

☰ SMART SUPPORTを実現する具体的方策(10項目)

行動指針：S-M-A-R-T

👤 ①人権を尊重する教育

- ・自己肯定感を高める教育の推進
- ・予防的支援の標準化(機能的アセスメント等)
- ・いじめ防止基本方針に基づく組織的対応

📡 ②安心・安全な学校環境の整備

- ・ICTを活用した情報共有による未然防止
- ・緊急時対応計画のDX化・適時見直し
- ・ヒヤリハットの資産化

📖 ③専門性に基づく教育の推進

- ・学習指導要領の深い理解と確かな指導設計
- ・「学びの履歴」を活用したエビデンスに基づく実践
- ・指導の引き出しのデータベース化

💓 ④健康な心と体づくり

- ・デジリハ、VR技術、アダプトスポーツによる身体意識、運動機会の拡張
- ・保健指導、性教育の充実
- ・食育の充実(多職種連携)

👤 ⑤キャリア教育の推進

- ・キャリアパスポートの利活用と学びの連続性
- ・関係機関と連携した体験活動・実習活動
- ・進路に関わる効果的な情報発信

🏠 ⑥地域の関係機関と連携した教育

- ・「社会に開かれた教育課程」の深化
- ・共生社会の形成に向けた交流・共同学習
- ・ケース会議のデジタル化・効率化

🏠 ⑦センター的機能の発揮

- ・小中学校等との連携及び支援
- ・就学前施設等との「学びの履歴」共有
- ・移行期を見据えたネットワーク構築

👤 ⑧組織的な学校運営の推進

- ・校務DXによる事務作業の徹底した効率化
- ・データ駆動型の学校運営と迅速な意思決定
- ・働き方改革の更なる推進(余白の創出から教育活動の質の充実へ)

📖 ⑨次期学習指導要領改訂準備

- ・教育目標とスクールコンセプトの関連性検証
- ・カリキュラム・マネジメントの一層の充実
- ・教育課程及び学校組織体制の整備

📖 ⑩学校研究の推進

- ・学校課題と専門性向上に向けた研究主題設定
- ・日々の授業実践を「指導のナレッジ」と言語化
- ・大学等研究機関との連携による内容充実

特色ある教育活動

■意欲にあふれる児童生徒を育てます

児童生徒一人一人の持ち味を生かし可能性を伸ばすために「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、それに基づいて、小学部、中学部、高等部において地域に根ざした特色ある教育を行っています。

■どのようなお子さんが…

肢体不自由があるお子さんを前提として、学習指導や生活など特別な支援が必要な小学生から高校生までの児童生徒が対象です。

■どのような教育を…

●一貫した指導・支援

小学部、中学部、高等部と一貫した指導・支援の充実と、自立へ向けた基本的生活習慣の育成とともに個性の伸長、明朗な人格の育成、確かな学力を育むことを目指しています。

●「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」

生涯にわたって充実した生活を送るために、医療や福祉など関係機関との連携を大切にした「個別の教育支援計画」の策定をすすめています。また、具体的な指導にあたっては、「個別の指導計画」を基に、一人一人の教育的ニーズに応じた学習を行っています。

●自立活動

一人一人の良さや可能性を伸ばしていけるよう、個別の指導計画に基づき、個々の目標に応じた学習課題に取り組んでいます。また、自立活動は、時間における指導だけではなく他の学習と密接な関連を保つように、計画的、組織的に指導・支援を行っています。また、病院で機能訓練を行う児童生徒が在籍していることから、医療との連携を大切にした教育を進めています。場合によっては、児童生徒が定期的に受診している医療機関やリハビリスタッフ(PT・OT・ST)と、身体の様子や指導目標、装具について等の情報交換、情報共有をしています。

●訪問教育

通学が困難な児童生徒に対して、教員が家庭や病院を訪問して教育を行っています。

●寄宿舎の教育

寄宿舎は「通学困難な児童生徒の学校教育を保障するとともに、生活習慣や社会性を養う」ことを目的として設置されています。寄宿舎では、児童生徒が集団の中で規則正しい生活を送りながら、一人一人が課題に応じた取り組みを行い、お互いに人間関係を深めていくことを目指しています。

●居住地校交流

地域に暮らす同年代の児童生徒(小学校・中学校)との交流を通じて、お互いに理解を深め、同じ地域でともに生きていくための関係を深めるために、児童生徒(小学部・中学部)や保護者のニーズに基づき交流します。お互いが、ともに地域社会の一員として豊かな生活をおくり連携を深めるための貴重な場となります。

●センター的な役割

網走地区の特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、保育所、幼稚園、小中学校、高等学校等への教育支援や教育相談を行っています。

●積極的な連携

○PTA

児童生徒の健やかな成長を図ることを目的として、研修会、交流親睦会等の様々な活動を行っています。

○同窓会

開校以来の会で、年に一回総会・懇親会を開き、卒業生や教職員が一堂に会し交流を深めています。

○後援会

教育活動を推進するために、多くの地域の方々に応援していただいています。

教育課程

小学部 年間授業時数

(1) 知的障がいを併せ有する児童の場合

ア 年間授業時数(1組、2組、3組、5組、6組)※教育課程1-①、1-②

学 年		1(1-①)	2(1-①)	3(1-②)	4(1-①)	4(1-②)	5(1-①)	6(1-①)
各教科	国 語	34	35	98	70	99	70	70
	算 数	34	35	98	70	99	70	70
	生 活	221	231	263	287	288	287	287
	音 楽	34	35	35	35	35	35	35
	図画工作	34	35	35	35	35	35	35
	体 育	34	35	35	47	47	47	47
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35	35
外 国 語 活 動								
小 計(a)		425	441	599	579	638	579	579
総合的な学習の時間(b)								
特別活動	学級活動(c)	34	35	35	35	35	35	35
	クラブ活動							
	児童会活動							
	学校行事	21	21	21	21	21	21	21
自立活動(d)		408	420	360	420	361	420	420
合 計 (a+b+c+d)=A		867	896	994	1034	1034	1034	1034

イ 年間授業時数(4組)※教育課程2

学 年		1	2	3	4	5	6
各教科	国 語			35		70	
	算 数			35		70	
	生 活			130		132	
	社会、理科						
	音 楽			35		35	
	図画工作			35		35	
	体 育			35		35	
特別の教科 道徳				35		35	
外 国 語 活 動							
小 計(a)		0	0	340	0	412	0
総合的な学習の時間(b)							
特別活動	学級活動(c)			35		35	
	クラブ活動						
	児童会活動						
	学校行事			21		21	
自立活動(d)				619		587	
合 計 (a+b+c+d)=A		0	0	994	0	1034	0

5 教育課程編成上の留意事項

合理的配慮を基にともに学び合う活動を大切に授業を進めるために学年、学級の枠を超えて、様々な学習集団を組み、個別の指導計画の目標が達成できる学習環境を整備、設定して実践する。

中学部 年間授業時数

(1) 知的障がい併せ有する生徒の場合 (知的障がいの各教科、自立活動を主とする教育課程)

ア 年間授業時数

学 年		1	2	3
各教科	国語	105	105	105
	社会	70	70	70
	数学	70	70	70
	理科	35	35	35
	音楽	45.5	45.5	45.5
	美術	45.5	45.5	45.5
	保健体育	45.5	45.5	45.5
	職業・家庭	122.5	122.5	122.5
	外国語			
	小計 (a)	539	539	539
特別の教科 道徳(b)		35	35	35
総合的な学習の時間 (c)		45.5	45.5	45.5
特別活動	学級活動 (d)	85.5	85.5	85.5
	生徒会活動	8	8	8
	学校行事	20	34	36
自立活動 (e)		310	310	310
合計 (a+b+c+d+e)=A		1015	1015	1015

(2) 知的障がい併せ有する生徒の場合 (自立活動を主とする教育課程)

ア 年間授業時数

学 年			2	
各教科	国語		105	
	社会			
	数学		70	
	理科			
	音楽		45.5	
	美術		45.5	
	保健体育		45.5	
	職業・家庭		42	
	外国語			
	小計 (a)		353.5	
特別の教科 道徳(b)			35	
総合的な学習の時間 (c)			45.5	
特別活動	学級活動 (d)		85.5	
	生徒会活動		8	
	学校行事		34	
自立活動 (e)			495.5	
合計 (a+b+c+d+e)=A			1015	

高等部 年間授業時数

（１） 知的障がいをも併せ有する生徒の教育課程

ア 年間授業時数

学 年		1	2	3
各教科	国語	52.5	52.5	52.5
	社会	35	35	35
	数学	52.5	52.5	52.5
	理科	35	35	35
	音楽	35	35	35
	美術	35	35	35
	保健体育	70	70	70
	職業	105	105	105
	家庭	70	70	70
小計(a)		490	490	490
道徳(b)		35	35	35
総合的な探究の時間(c)		35	35	35
特別活動	ホームルーム活動(d)	105	105	105
	生徒会活動	16	16	16
	学校行事	27	27	27
自立活動(e)		385	385	385
合計(a+b+c+d+e)=A		1050	1050	1050

*授業総時数計画においては、各学年共に 週30時間×35週=1,050時間として計画しており、余剰時数は含めていない。

（２） 準ずる教育を受けてきた生徒のための個別に対応した教育課程

ア 年間授業時数

学 年		1	2	3	
各教科	国語	70		70	
	社会	35		35	
	数学	70		70	
	理科	35		35	
	音楽	35		35	
	美術	35		35	
	保健体育	35		35	
	家庭	105		105	
	職業	35		35	
	外国語	35		35	
	情報	35		35	
	小計(a)		525		525
	道徳(b)		35		35
総合的な探究の時間(c)		35		35	
特別活動	ホームルーム活動(d)	105		105	
	生徒会活動	16		16	
	学校行事	27		27	
自立活動(e)		385		385	
合計(a+b+c+d+e)=A		1085		1085	

*授業総時数計画においては、各学年共に 週31時間×35週=1,085時間として計画しており、余剰時数は含めていない。

(3) 自立活動を多めに設定した教育課程

ア 年間授業時数

学 年		1	2	3
各 教 科	国語	140		
	数学	70		
	音楽	35		
	美術	35		
	保健体育	35		
	家庭	70		
	小 計 (a)	385		
道 徳 (b)		35		
総合的な探究の時間(c)		35		
特別活動	ホームルーム活動(d)	105		
	生徒会活動	16		
	学校行事	27		
自立活動(e)		490		
合 計(a+b+c+d+e)=A		1050		

* 授業総時数計画においては、週30時間×35週=1,050時間として計画しており、余剰時数は含めていない。

教育課程編成上の留意事項(1)(2)(3)

- a 基本的には肢体不自由養護学校の教育課程を基盤としつつ、障害を併せ有する生徒で構成されていることから、障害の多様化及び重度化に対応するため、生徒の心身の障害の状況を考慮し、学校教育施行規則130条に基づき特別な教育課程として構成する。
- b 将来の生活を見通して、社会生活のために必要な知識、技能及び自ら生活を豊かにする態度・習慣の育成に必要な学習内容を組織する。
- c 『総合的な探究の時間』は、進路学習や現場実習(1年生は1週間程度、2年生は2週間程度、3年生は3週間程度を予定)、講師派遣型の体験活動や地域交流等の活動を必要に応じて計画している。そのため、各学年の現場実習については、週時程には位置付けず「総合的な探究の時間」として、それぞれ特定の時期にまとめて実施する。

(4) 重複障がい者のうち障がいの状態により特に必要がある生徒の場合

ア 年間授業時数

学 年		1(施設)
各 教 科	国語	
	社会	
	数学	
	理科	
	音楽	
	美術	
	保健体育	
	家庭科	
	職業科	
	外国語	
	情報	
	小 計 (a)	0
道 徳 (b)		0
総合的な探究の時間(c)		
特別活動	ホームルーム活動(d)	
	生徒会活動	
	学校行事	10
自立活動(e)		200
合 計(a+b+c+d+e)=A		200

教育課程編成上の留意事項(4)

障害が重度重複化していることを加味し、学習指導要領の自立活動6区分を基として各教科に充当した学習を展開できるように柔軟に対応している。なお、訪問施設生については、年間指導週数を35週、指導時数を210時間を基準とし、訪問指導日は週3回(1日120分)としている。また、指導回数は週6単位(1単位60分)とし、施設の日課や行事などに配慮している。

週時程表

○小学部

(小学部 知的代替1-①)

時刻	月	火	水	木	金
8:45~	登 校				
9:00~	自立活動				
9:45~	生活 ※朝の会、係活動、着替え、排泄など				
10:00~	道徳	音楽	特別活動	体育①~③ 生活④~⑥	図画工作
10:45~	休憩				
11:00~	国語/算数 ①~③ 自立活動 ④~⑥	生活	国語/算数 ①~③ 自立活動 ④~⑥	生活①~③ 体育④~⑥	国語/算数 ①~③ 自立活動 ④~⑥
11:30~	自立活動 ①~③ 国語/算数 ④~⑥	生活	自立活動 ①~③ 国語/算数 ④~⑥	生活①~③ 体育④~⑥	自立活動 ①~③ 国語/算数 ④~⑥
12:00~	生活 ※片付け(学級)/給食準備				
12:10~	自立活動(給食)				
12:55~	休 憩				
13:10~	生活①~② 13:20下校 生活 ③~⑥	生活① 13:20下校 国語/算数 ②~⑥	生活 13:20下校	生活①~② 13:20下校 国語/算数 ③~⑥	生活①~③ 13:20下校 生活 ④~⑥
13:55~	生活③~⑥ 14:05下校	生活②~⑥ 14:05下校		生活③~⑥ 14:05下校	生活④~⑥ 14:05下校

(小学部 知的代替1-②)

時刻	月	火	水	木	金
8:45~	登 校				
9:00~	自立活動				
9:30~	国語/算数				
9:45~	生活 ※朝の会、係活動、着替え、排泄など				
10:00~	道徳	音楽	特別活動	体育①~③ 生活④~⑥	図画工作
10:45~	休憩				
11:00~	国語/算数 ①~③ 自立活動 ④~⑥	生活	国語/算数 ①~③ 自立活動 ④~⑥	生活①~③ 体育④~⑥	国語/算数 ①~③ 自立活動 ④~⑥
11:30~	自立活動 ①~③ 国語/算数 ④~⑥	生活	自立活動 ①~③ 国語/算数 ④~⑥	生活①~③ 体育④~⑥	自立活動 ①~③ 国語/算数 ④~⑥
12:00~	生活 ※片付け(学級)/給食準備				
12:10~	自立活動(給食)				
12:55~	休 憩				
13:10~	生活①~② 13:20下校 生活 ③~⑥	生活① 13:20下校 国語/算数 ②~⑥	生活 13:20下校	生活①~② 13:20下校 国語/算数 ③~⑥	生活①~③ 13:20下校 生活 ④~⑥
13:55~	生活③~⑥ 14:05下校	生活②~⑥ 14:05下校		生活③~⑥ 14:05下校	生活④~⑥ 14:05下校

(小学部 知的代替2)

時刻	月	火	水	木	金
8:45~	登 校				
9:00~	自立活動				
9:45~	生活 ※朝の会~日課、人との関わり				
10:00~	道徳	音楽	特別活動	国語/算数	図画工作
10:45~	休憩				
11:00~	自立活動	生活	自立活動	体育	自立活動③ 国語/算数⑤
11:45~	自立活動(給食)				
12:55~	休 憩				
13:10~	国語/算数	自立活動③ 国語/算数⑤	生活 13:20下校	自立活動	生活③ 13:20下校 自立活動⑤
13:55~	生活 14:05下校	生活 14:05下校		生活 14:05下校	生活⑤ 14:05下校

○中学部

(中学部 知的代替①)

時刻	月	火	水	木	金
8:45	登 校				
9:00	国語/学級活動(朝の会)				
9:20	自立活動				
10:10	国語/数学	国語/数学	特別活動	国語/数学	国語/数学
11:00	職業・家庭	保健体育	総合的な 学習の時間	美術	音楽
12:05	自立活動(給食)				
12:55	休 憩				
13:10	理科/社会	職業・家庭	理科/社会	理科/社会	特別の教科 道徳
14:00	家庭	家庭	学級活動 (帰りの会) 14:15下校	家庭	学級活動 (帰りの会) 14:15下校
14:20	学級活動 (帰りの会) 14:30下校	学級活動 (帰りの会) 14:30下校		学級活動 (帰りの会) 14:30下校	
14:30					

(中学部 知的代替②)

時刻	月	火	水	木	金
8:45	登 校				
9:00	国語/学級活動(朝の会)				
9:20	自立活動				
10:10	国語/数学	国語/数学	特別活動	国語/数学	国語/数学
11:00	自立活動	保健体育	総合的な 学習の時間	美術	音楽
12:05	自立活動(給食)				
12:55	休 憩				
13:10	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	特別の教科 道徳
14:00	家庭	家庭	学級活動 (帰りの会) 14:15下校	家庭	学級活動 (帰りの会) 14:15下校
14:20	学級活動 (帰りの会) 14:30下校	学級活動 (帰りの会) 14:30下校		学級活動 (帰りの会) 14:30下校	
14:30					

○高等部

時刻	学年	月	火	水	木	金
8:45 9:00		登 校				
9:00 9:25	全	家庭／SHR				
9:25 10:10	全	自 立 活 動				
休 憩						
10:15 11:05	知2 知1 知3	国語／数学 職業／国語・数学 自 立 活 動	社会／理科 理 科 国 語	家 庭 職 業／国語・数学 自 立 活 動	理科／社会 社 会 国 語	数学／国語 職業／国語・数学 自 立 活 動
休 憩						
11:10 12:00	知2 知1 知3	自 立 活 動 国語・数学／職業 国語・数学	自 立 活 動	職 業 国語・数学／職業 国語・数学	自 立 活 動	自 立 活 動 国語・数学／職業 国語・数学
休 憩						
12:05 12:50	全	給 食（自 立 活 動）				
12:50 13:05	休 憩					
13:05 13:55	知2 知1 知3	道 德	美 術	保 健 体 育	総 合	音 楽 保 健 体 育 国語・数学
14:00 14:50	知2 知1 知3	休 憩 外 国 語	休 憩 情 報	音 楽	休 憩 L H R	
14:50 15:05	全	14:10下校 家庭／SHR ※6校時がない場合、13:55～14:10				
		15:05 下校	15:05 下校	14:10 下校	15:05 下校	14:10 下校

○訪問教育学級(施設)

時間	月	火	水	木	金
10:00 11:00	自立活動		自立活動		自立活動
11:00 12:00	自立活動		自立活動		自立活動

■年間授業時数

		日数	休業日	授業日数	主な行事
一学期	4月	30	14	16	始業式、入学式、新入生・新入舎生歓迎会
	5月	31	13	18	舎友会総会、交通安全教室、参観日、PTA総会
	6月	30	9	21	運動会、芸術鑑賞会(舎)、現場実習(高)
	7月	31	14	17	寮祭(舎)、見学旅行(小)、終業式
	小計	122	50	72	
二学期	8月	31	25	6	始業式、同窓会
	9月	30	11	19	見学旅行(中)、宿泊研修(高)、見学旅行(高)、遠足(小)、合同観劇、仕事体験(中)、日ハム交流
	10月	31	10	21	買い物体験(舎)
	11月	30	11	19	学校祭、地域参観日、現場実習(高)、企画遊び、呼人小交流(小)
	12月	31	12	19	クリスマス会(舎)、肢病スポーツ大会、終業式
	小計	153	69	84	
三学期	1月	31	23	8	始業式、節分会(舎)
	2月	28	10	18	一日入学入舎説明会、中学部体験、冬の販売会(高)
	3月	31	14	17	卒業を祝う会(小・中)、3年生を送る会(高)、退舎生を送る会(舎)、卒業式、修了式
	小計	90	47	43	
合計	365	166	199	小中学部・高等部新入生：198日 小中学部・高等部在校生：199日 小中学部卒業生：192日 高等部卒業生：187日	

■日課表

○学校(例)

日課	時刻
1校時	9:00 ~ 10:00(小)
	9:00 ~ 9:20(中)
	9:00 ~ 9:25(高)
2校時	10:00 ~ 10:45(小)
	9:20 ~ 10:10(中)
	9:25 ~ 10:10(高)
3校時	11:00 ~ 11:30(小)
	10:10 ~ 11:00(中)
	10:15 ~ 11:05(高)
4校時	11:30 ~ 12:00(小)
	11:00 ~ 12:05(中)
	11:10 ~ 12:00(高)
給食指導	12:00 ~ 12:55(小・中)
	12:05 ~ 12:50(高)
5校時	13:10 ~ 13:55(小)
	13:10 ~ 14:00(中)
	13:05 ~ 13:55(高)
6校時	14:00 ~ 14:50(中)
	14:00 ~ 14:50(高)
7校時	14:50 ~ 15:05(中)
	14:50 ~ 15:05(高)

○寄宿舍

日課	時刻
起床	6:20
着替え 洗面、歯磨き	6:20~
朝食	7:40
登校準備	8:15
登校	8:45 ~ 8:50
入浴 (火・木)	13:45 ~ 17:00
余暇	下校 ~ 夕食前
夕食	17:30 ~ 18:00
洗面、歯磨き	18:10
就寝準備	18:15
余暇	18:30
就寝	19:30
※舎生の実態に 即して	~ 21:00

学級編成及び児童生徒の状況

■学級編成

○小学部

重複学級	1年	2・3年	3・5年	4・5年	5・6年	合計
学級数	2	1	1	1	1	6学級

○中学部

重複学級	1・2年	2年	2・3年	合計
学級数	1	1	1	3学級

○高等部

重複学級	1年	2年	3年	合計
学級数	2	1	2	5学級

○訪問教育

重複学級	小学部	中学部	高等部	合計
学級数	0	0	1	1学級

○学級数合計

全校 ※訪問含む				
重複学級	小学部	中学部	高等部	合計
学級数	6	3	6	15学級

■学年別児童生徒数

学部等	小学部						合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
男	5	1	2	2	2	2	14人
女	1	0	0	0	1	0	2人
合計	6	1	2	2	3	2	16人

学部等	中学部			合計
	1年	2年	3年	
男	2	4	1	7人
女	0	1	1	2人
合計	2	5	2	9人

学部等	高等部			合計
	1年	2年	3年	
男	4	1	2	7人
女	2	1	3	6人
合計	6	2	5	13人

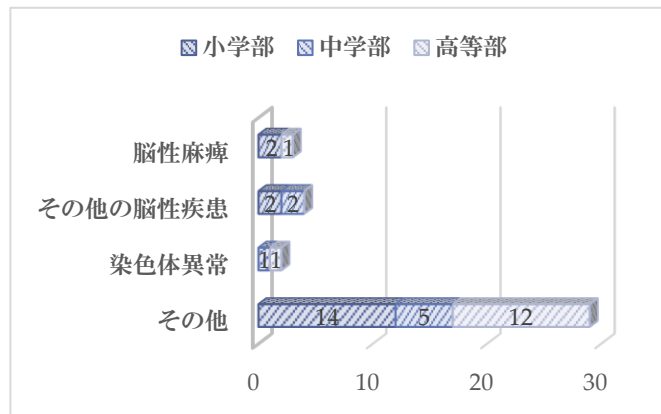
訪問教育							合計
学部	小学部	中学部		高等部		合計	
学年	-	計	-	計	1年	合計	
男	0	0人	0	0人	0	0人	0人
女	0	0人	0	0人	1	1人	1人
合計	0	0人	0	0人	1	1人	1人

全校 ※訪問含む				合計
学部	小	中	高	
男	14	7	7	28人
女	2	2	7	11人
合計	16	9	14	39人

■寄宿舎児童生徒数

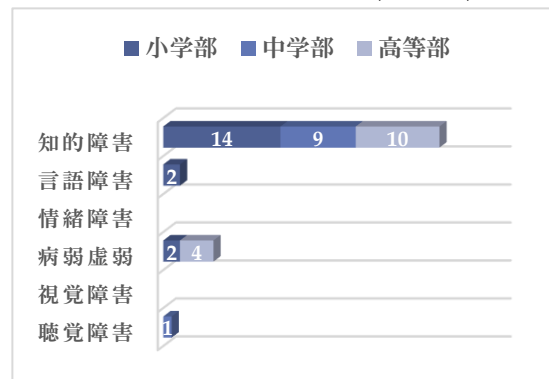
学部	小学部							中学部				高等部				合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	合計	
男	1	0	1	1	2	2	7人	2	4	1	7人	4	1	2	7人	21人
女	0	0	0	0	1	0	1人	0	1	1	2人	2	1	2	5人	8人
合計	1	0	1	1	3	2	8人	2	5	2	9人	6	2	4	12人	30人

■起因疾患一覧



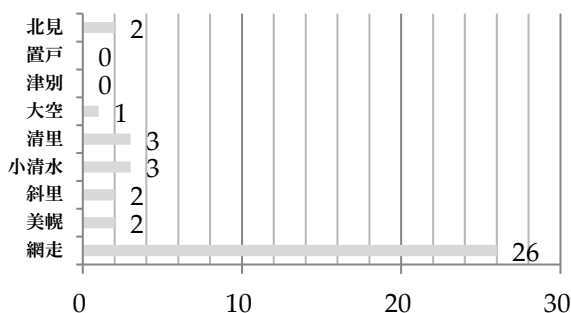
■重複障害の概要

※ 肢体不自由と重複している障害(述べ人数)



■居住地別児童生徒数

※ 全校児童生徒数39名



卒業生の進路、学校運営組織

■ 中学部

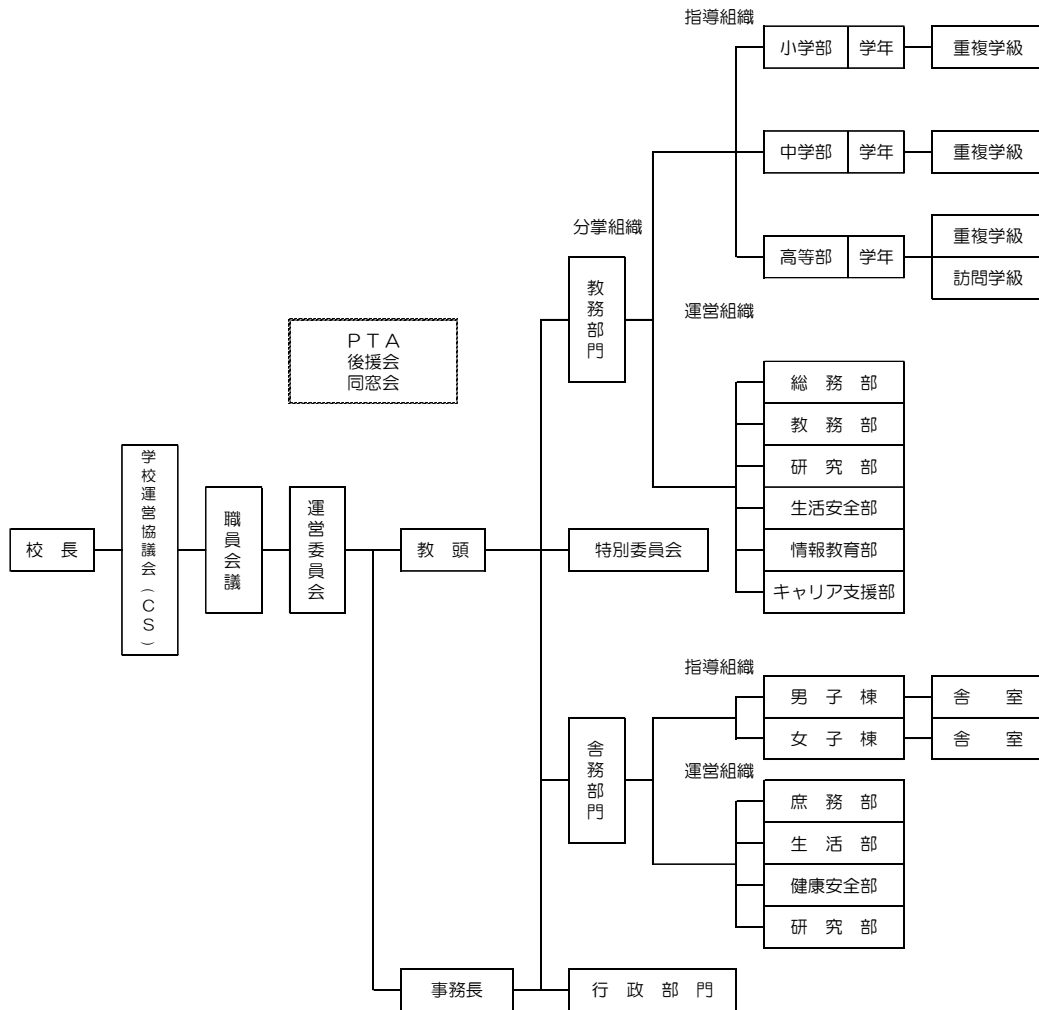
進路先	年度					合計
	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	
就職	0	0	0	0	0	0
施設	0	0	0	0	0	0
進学	高等養護学校	0	0	0	0	0
	本校高等部	5	2	3	4	3
	併設校高等部	0	0	0	0	2
	公立・私立学校	0	0	0	0	0
家庭	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	5	2	3	4	5	19

■ 高等部

※ 複数のサービスを利用している生徒もいるので延べ人数となります

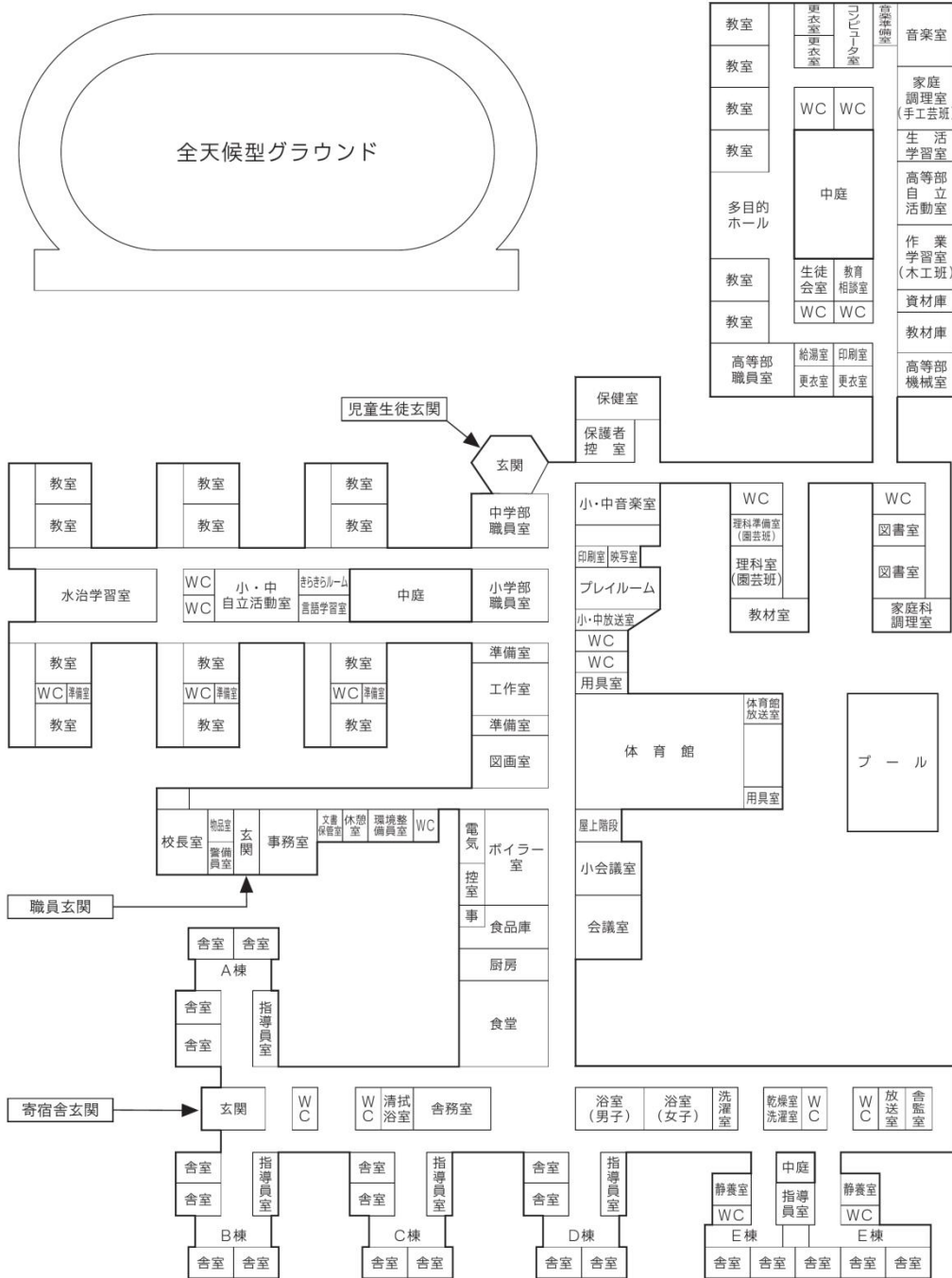
サービスの利用形態	重症心身障害児・者施設入所	施設入所	合計	日中活動の場							一般就職	合計	夜間		合計
				生活介護	就労継続A型	就労継続B型	地域活動支援センター	就労移行支援	日中一時	在宅(ホームヘルプなど)			グループ・ホーム	在宅・その他	
令和7年度	2	1	3	1	0	3	0	0	0	0	0	4	4	0	4
令和6年度	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	2	1	2
令和5年度	6	1	7	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1

■ 学校運営組織



校舎平面図

校舎平面図



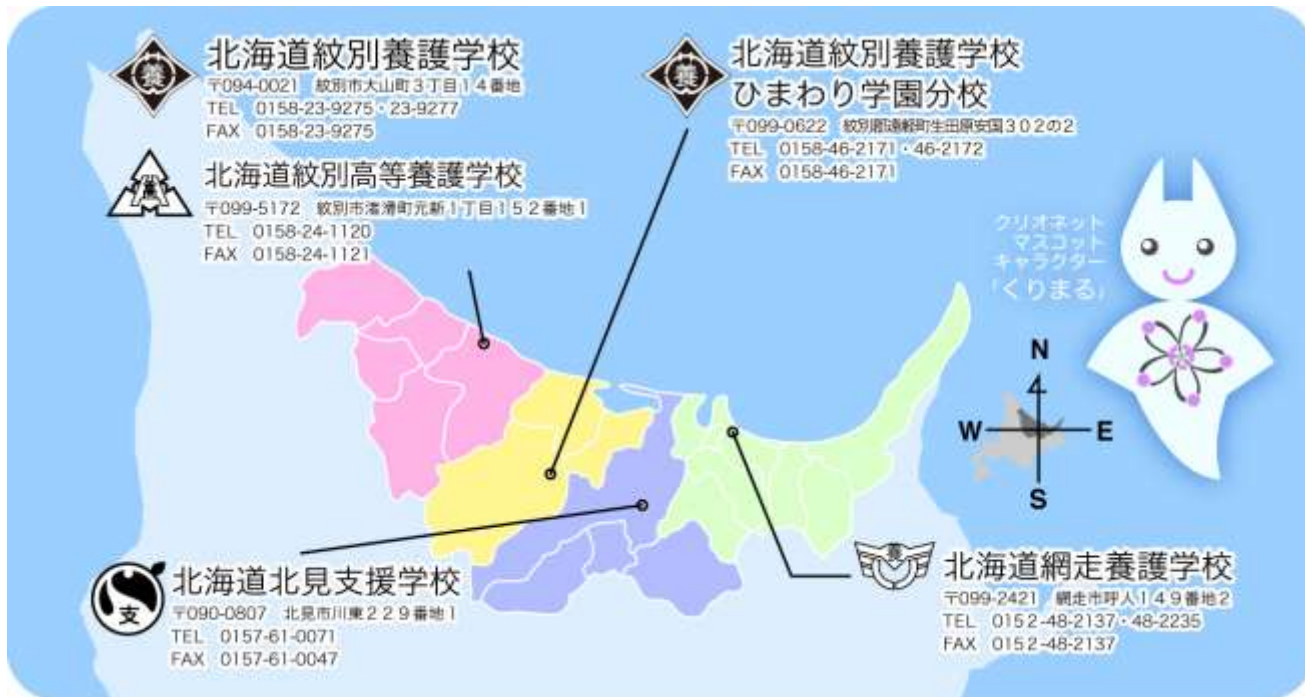
学校敷地面積	42,036㎡
校舎棟面積	5,782.33㎡
寄宿舎棟面積(内数)	(3,013.01㎡)
独立建物面積	201.77㎡



クリオネット

オホーツク特別支援教育ネットワーク

クリオネットは、オホーツク管内の特別支援学校5校のネットワークです。オホーツク地域の特別支援教育の推進と発展に向けて、教育相談や支援機能の向上と連携体制の充実を図ります。



特別支援学校名	担当市町村名
北海道紋別養護学校 北海道紋別高等養護学校	雄武町・興部町・西興部村・紋別市・滝上町
北海道紋別養護学校 ひまわり学園分校	湧別町・遠軽町・佐呂間町
北海道北見支援学校	北見市・訓子府町・置戸町・津別町
北海道網走養護学校	網走市・大空町・美幌町・小清水町・ 清里町・斜里町



教育相談のご案内

オホーツク管内5校の特別支援学校が連携して、一人一人の教育的ニーズに応じた教育相談を行っています。お子さまの成長について気になることがありましたら、お気軽に、お近くの特別支援学校にお問い合わせください。



クリオネット

オホーツク特別支援教育ネットワーク

案内図

〈交通機関〉

◎路線バス

- ・女満別空港線
養護学校前下車徒歩10分（0.9km）

◎J R石北本線

- ・呼人駅下車徒歩20分（1.7km）

◎市内タクシー

- ・J R網走駅→養護学校15分



教育相談

本校では、就学前、小・中学校、高等学校のお子さんに関する様々な相談を受けつけています。

あらかじめ電話でお問い合わせの上、ご来校ください。

《教育相談の内容》

- ・学校教育について知りたい
- ・家庭での養育に悩んでいる
- ・発育や発達の様子が気になる
- ・専門機関に関する情報がほしい など

～お気軽にご相談ください～

